

群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>

(本紙は「群馬菱の実会ホームページ」から、毎月1日に、カラーで綺麗にご覧頂けます。ネットでの閲覧をお奨めします)

平成26年度・群馬菱の実会総会の報告

平成26年度「群馬菱の実会」総会を、5月13日 馬電ゲストホールにて開催しました。例年の如く「ヤアー久しぶり！元気そうだな？」等々の会話で始まり、定刻前から多くの方々に参加いただき、会員力作の作品展示会(絵画、写真、墨絵、書道、造形物)や近況報告等々で盛況に開催されました。

総会は会員161名の参加を得て、会長挨拶に続き、ご来賓(荻原労組委員長、内田所長)からのご挨拶をいただきスタート。

会長挨拶では、今年度より二宮会長→高柳新会長へ交替の報告、その他役員の定例交替(2年制)等が報告された。

荻原労組委員長からは、労働組合創立60周年、今春闘で電機大手NO.1の実績報告。

内田馬電所長からは、当年度が馬電創立55周年、給湯器発売50周年と記念すべき年であること、エコ給湯M/S=25%キープ、ヒータ式温水器のM/S=60%等々好業績報告。また、この冬の大雪による雪害(テントハウス倒壊)も、馬電関係会社・従業員の一一致団した行動力で挽回策に取り組み、お客様のご要望に応えることができた等、大変心強い報告もありました。

総会の議事も滞りなく終了した最後に、恒例となった「青い山脈」を全員で合唱、その後に記念撮影を行い総会を終了しました。

なお、総会前の工場見学では、ここ数年で製造ラインが大幅に改革され、作業者も生き活きとして頼もしく、菱の実会員に将来への安心感を与えてくれました。

また総会終了後、約75名(労組関係者、馬電幹部含む)参加による懇親会を食堂で開催、情報交換の場として大いに盛り上がり、有意義なひと時を過ごす事が出来ました。

会員が年々高齢化する中ですが、次年度以降もより多くの方々に参加いただけるよう皆様からのご意見・ご提案をお願い申し上げます。



総会のスナップ写真をスライドショームービーに編集し、菱の実会ホームページに掲載しましたのでご覧下さい。

【菱の実感】

五月初頭に開催された三菱電機アマチュア無線クラブ全場所大会に参加した。行き先は冷電(和歌山製作所)のある和歌山市である。▼毎年、この時期に行われるこの集まりは、担当場所が選りすぐって決め、今回は「和歌の浦」の絶景を望む「紀三井寺(きみいでら)」麓のホテルでの開催となった。▼今年も馬電を含め十五場所から六十余名の参加で、議案を討議し懇親会で親睦を深めた。中でも、本社地区の海外無線局運用の報告は島国「パラオ」での開局。数日間の運用で二千数百局と交信をしたとの報告に、毎年の事とは言え、実に体力のある方達と改めて感心した。▼会員構成にOBを含める会則検討が進められる事は、小生がこの大会に参加でき、今後各場所OBとのアイボールQSOを楽しめる。さあ、次は長電での開催だ。

(大隅 修一)



平成26年度
群馬菱の実会 役員

会長	高柳 静雄 (菱の実会統括)
副会長兼 事務局長	川島 和平 (事務統括、だより編集 親睦旅行担当)
事務局 幹事	井上 佳久 (ホランテア担当)
	中庭 徹 (慶弔担当)
	橋本 功衛 (だより、名簿管理)
	大隅 修一 (だより編集担当)
会計	工藤 重幸 (だより編集、旅行担当)
	大塚 誠二 (だより編集、旅行担当)
幹事	細野 孝雄 (パソコンサークル担当)
	栗原 正吾 (将棋会リーダー)
	江川 八郎 (カラオケ会リーダー)
	荒井 昭三 (麻雀会リーダー)
	大橋 浩 (カラオケ会担当)
	小林 昌樹 (麻雀会担当)
	川口 博 (ゴルフ会担当)
	関根 詔三 (ゴルフ会担当)
	鈴木 庄一 (囲碁会担当)
	竹沢 宏 (ゴルフ会リーダー)
	大塚 俊郎 (囲碁会リーダー)
	高橋 豊 (グラウンドゴルフリーダー)
	会計監査
生田 三郎	
顧問	上村 統久
	二宮 平太郎
だより 編集専任	篠崎 辰夫 (だより編集、HP担当 パソコンサークルリーダー)

がんばってます！

上毛新聞に掲載された、須永 洋さんの「がんばってます」です。この他にも、数々の賞を受賞されています。その作品の一端を菱の実会ホームページ上で、「須永写真ギャラリー」として、毎月一作品、紹介しておりますので、ぜひご覧下さい。

2014年(平成26年) 3月11日(火曜日)(8)

「太平記の里」観光写真コンテスト最優秀賞

須永 洋さん (70) 太田市 新田木崎町

人ひと

最優秀賞

「今後も街のPRになるような写真を撮りたい」と意気込む須永さん

写真撮影を始めた。まだ始めて10年だが、これまで太田市写真公募展では2回、最高賞の市長大賞に選ばれた。観光写真コンテストの最高賞は今回が初めて。

風景を中心に撮り続け、今の季節は福島や長野県を訪れ、雪と氷に閉ざされた山の風景を撮る。「スナップはあまり撮らない」と言うが、今回の最優秀賞はどろんこ相撲の勝負の瞬間を捉えたスナップ写真。「孫を連れて訪れた会場で3時間ほど粘って撮った1枚」と話す。

最近では家庭用プリンターを使い和紙にプリントして作品を制作する。「和紙によって味わいが異なり、面白い。うまく作品がまとまれば個展を開きたい」と夢を膨らませる。

須永洋さんは第33回「太平記の里」観光写真コンテストで最優秀賞を獲得した。「70歳という節目の年に最高賞を受賞でき、うれしい。自信と励みになる」と喜び、会社員を定年退職したのを機に

どろんこ相撲の瞬間捉える

70歳で受賞に自信

「がんばってます」の原稿を募集しています。趣味や特技を生かして活躍されている方、資格などの取得または挑戦されている方、介護や病気などと闘っている方等、ぜひ原稿をお寄せ下さい。皆さんのお役に立つと思います。

失望社会から希望社会への転換を

鳥取市 高橋正晨

2014年を迎え、1935年生まれの私は数えて八十歳となりました。

鳥取市は鳥取三洋電機の跡地を見るにつけ、ガイナールのJ3降格の決定を見るにつけ、地盤沈下が激しく、残念ながら地域が非活性化の方向に進んでいます。

日本は、小泉政権の悪政後、民主党政権の希望社会への是正努力が野田政権の失政により跡形もなく崩れ去り、ねじれ解消の現政権が発足してから、顕著に失望社会に突き進んでいるように思われます。

私は、かねてから、日本の社会を失望社会と断定していました。日本の将来を担って貰わなければならない若者に希望を与えていない社会だからです。希望社会では、子供として生まれ、社会責任で不自由なく育てられ、十分な教育を受け、社会に役立つ職業に就き、応分の報酬を受けて生活でき、消費と次世代の子孫を残すことができます。途中でドロップアウトしても、再チャレンジでき、修業後再就職することがができます。

しかし、アメリカ、イギリス、イスラエル、韓国、日本という、いわゆるアングロサクソン系の国は、新自由主義の競争原理のみで暴走するので、あらゆる格差が拡大し、大変な状況が発生しております。

広辞苑によれば、「望」とは満月のこととです。「失望」とは、あてがはずれてつかかりすること。「希望」とは、ある事

を成就させようと願望することです。

現状の日本は「失望社会」です。失われた20年でまさに「失望社会」となっています。この間に、「希望社会」でいられるように勇気を持って日本を転換させるべきであったのです。ところが誰も何もしなかった、それどころか最近の政権は更に悪化させようとしています。国家安全保障会議日本版NSC設置法、特定秘密保護法、集団的自衛権の行使拡大、憲法96条改正、原発再稼働、消費増税、TPP推進等々がそうです。

今、喫緊の課題は、「希望社会」に転換させることです。「大学までの子ども教育費国家負担」「応分な最低賃金制」「同一労働同一賃金」「ワークシェアリング」「再チャレンジできる国の職業訓練システム」など、ヨーロッパのような生活システムへの転換だと思えます。要するに、若者が安心して働き、子育てをして、次の社会を構築してくれるようにしなければなりません。

若者が切り捨てられる格差社会を根本的に転換させなければなりません。そうしなければ、「希望社会」は実現しません。

若者に希望をもたせる「希望社会」への転換ができなければ、今後何をやってもうまく行くわけがありません。大変に厳しい道ですが、日本再生の道はこれしかないと思われまます。このことが、国民に解かっているのでしょうか。現政権に解かっているのでしょうか。

若者に未来のない国は滅びるしかありません。ソ連の影響で栄えていたフィンランドが、ソ連の崩壊で国の存続が危

うくなったとき、どうすればよいかを考へてきた末に達したことは、将来GDPを生む子供への教育を国が責任を持ち、教育によって優れた人材を確保しGDPを稼ぐことでした。その結果、フィンランドでは世界に羽ばたく産業が出現し、GDPは世界トップクラスで、教育も世界最先端を走っています。国の職業教育が世界でトップです。

日本では、大企業が若者を粗末にしています。政府も同じです。しかし、これでは国の将来はありません。なぜこうなるのか、それは、既得権にしがみついて、やるべき改革をやらなかったからです。若者だけに苦しみを皺寄せしたからです。

目覚めよ政府、目覚めよ公務員、目覚めよ大企業、目覚めよ高齢者、目覚めよ全ての既得権者よ。国の将来を担う若者をこんなに苦しめたままでもいいのですか。

もう一つ大切なことは、地域の活性化です。地域の活性化は、その地域の人々が協力して、官民一体となつて、その地域が将来何によって生きるか真剣に模索、検討、実行すべきです。特に地政学的特殊性は尊重しなければなりません。また、特産物や観光資源は最大限に活用すべきです。

最終的には、地域が自立自営でできるようにしなければなりません。自立定住圏の確立です。再生可能エネルギーの活用は地域の活性化のポイントとなります。エネルギーの創出は自立した地域の大切な資源となります。太陽光・風力・波力・地熱・バイオマス・小水力、などの活用を馬鹿にしてはなりません。

さらに原発の問題です。科学的に考へて、原子力は人間のコントロール下には置けないエネルギーです。日本のような噴火・地震・津波大国で原発を維持することは至難の業です。また核廃棄物の最終処理も科学的に無理で、不可能な島国です。

ドイツ政府の脱原発の決断は、人類の英知です。100年後まで高レベルの核廃棄物を密封できる最終処分施設の立地を全国の岩塩層、粘土層、花南岩層で探索し、最終処分場を決定する法律が昨年ドイツでは成立しています。フィンランドはオンカロに、原発の最終処分場もすでに実現させています。

日本は、先の大戦に敗北し、否応なくアングロサクソン陣営に取り込まれ、安保、基地、原発、新自由主義などに悩まされることとなつており、日本古来の和の精神は見る影もありません。しかし、ヨーロッパの国々の人間尊重の考え方や国の運営方法には参考とすべき点が多々あります。日本人はアングロサクソン人のような考え方をし、本当に幸福なのか、このあたりでよく考へて、悪い点は修正すべき時期に来ているのではないのでしょうか。

戦前、戦中、戦後と生きてきた私が何れこの世から消え去る身として思うのは、日本の将来を担う若者の「希望社会」を1日も早く実現してほしいということです。現政権の今後1年間のアベノリスタの成果をよく見極めることが大切です。このことが現政権で実現して貰えそうであれば、何とかして国民の総意で実現して貰える政権を早く創り挙げる必要となつて来ます。

◇ おしらせ ◇

〒に市外局番のないものは 0276 です

行事	日時	場所	申込み、他
6月の囲碁愛好会	6月9日(月) 9:30~(16:00)	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
6月の麻雀愛好会	6月12日、26日(木) 9:30~17:00	ブライダルスクール 会費 1000円	申込み 6/10日、24日まで 荒井 昭三 (52-0803) 小林 昌樹 (38-0964)
6月の将棋愛好会	6月16日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
6月の グラウンドゴルフ例会	6月23日(月)9:30 (集合 9:15)	利根GG場 (会費:無料)	希望者は直接会場へ (雨天中止)
第66回ゴルフ愛好会	6月10日(火)	上武ゴルフ場	川口 (56-2678) 関根 (31-8410) 長谷川 (0270-74-2056) 竹沢 宏 (52-2271)
6月のカラオケ月例会	6月2日(月) 17:30~21:30	「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み: 6月1日まで 江川 八郎 (52-1886)
6月の パソコンサークル	6月2日(月) 13:30~14:45	労組会議室	ご自由にご参加ください
6月の幹事会	6月2日(月) 15:00	労組会議室	
5月の編集委員会	5月19日(月) 13:30	労組会議室	

【 パソコンサークルより 】 「ネットでパソコン教室」のご案内

現在ネット上にパソコン教室に類する動画投稿サイトがたくさんあります。その中からピックアップして、そのサイトへのリンク集をまとめました。パソコンサークルの自宅学習用教材として作成しましたが、サークル以外の皆さんもぜひご利用下さい。今さら聞けない、恥ずかしい、知らなかった、間違っていた・・・初心者はもとより、ベテランの方の復習にも最適です。「菱の実会ホームページ」からご覧ください。

太田市 上水道・下水道指定工事店

- ・公共下水道切替工事
- ・工口給湯据付工事

富昇設備工業

見積無料
お電話一本即参上太田市太子町71 (事)852-0755
852-0755
太田市竜岡町571-1 (自)852-1484

大小ご宴会・ご会食 52-0112

各種宴会・法事他承ります 0276-52-0007

編集後記

菱の実会総会も無事終わりました。この時期世の中いろいろな総会の花盛り。そこで問題になるのが役員の選出。なかなか手がない。ちなみにネットで、町内会、役員で検索したら七十万件以上も出てくる。ほとんどが役員選出に絡むトラブルや相談。町内会に限らずPTAなどでも泥沼の選出劇が続いているようだ。

菱の実会は幸いそんな混乱もなく、今年も晴れて新役員が選出されました。みんな協力、応援しましょう。
(篠崎)

<次号発行予定> 発行日:7月1日(火)
・NET読者は、7月1日にHP更新、配信予定。
・メール便・会員宅配は、7月8日以降の予定。

発行 2014-6-1 No. 254

発行責任者 高柳 静雄

● 編集: 「菱の実会だより」編集委員会
〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

● 事務局 三菱電機労働組合群馬支部内
Tel 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207